



平成28年度の通学路安全対策

【危険な状況】

現場は変則5差路だが、矢印方向からの道が極端に細く、交差点に進入する自転車が車から認識されにくい状況で、一度交通事故も発生した。

【対策】

矢印方向から来る道路用の標識は設置が難しいとのことなので、学校で一時停止の注意喚起をする看板を設置した。



平成28年度の通学路安全対策

【危険な状況】

学校北東のかどから長瀬バイパスまでの間は道幅が狭く、しかも水路に蓋がないため、自転車に乗った生徒が車とすれ違う際に、水路に落ちる危険性がある。

【対策】

地元区長さんより市に働きかけをしてももらったことにより、一部の水路に蓋が設置された。来年度以降も順次、蓋の設置をしていく予定とのことである。



平成 28 年度の通学路安全対策

【危険な状況】

国道 254 号線上大塚信号から南に数百メートルの区間は道路が拡幅されているが、西中北西のかどまでは依然として道幅が狭く、自転車や歩行者が危険な状況である。

【対策】

現在道路拡幅工事を進めてもらっている。平成 29 年度早々には学校の北西のかどより 300 m ほどを残して拡幅が完了する見込みである。